

## 市長あいさつ

本市では、「こどもを中心に世代を越えて、市民がつながり、支え合う、住みよいまち」を市全体で目指すこととして、平成27年5月に「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」を行いました。さらに平成28年3月には、この都市宣言の理念に基づき、地域全体で子育てや子育てを支え合うまちづくりの一層の推進を図るため、「小牧市地域こども子育て条例」を制定いたしました。

また、平成27年3月に「小牧市子ども・子育て支援事業計画」、令和2年3月に「第2期小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、これまで「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」の実現に向けて、こども・子育てに関する取り組みを総合的に推進してきました。

国家的な社会課題であります人口減少や出生数の減少は国の想定をはるかに超えるスピードで進行しており、本市においても同様です。この大きな流れは今後も容易に変わらないものと認識する中で、核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化により、子育てへの不安感、あるいは孤立感を感じる家庭も少なくないというのが現状であり、誰もが安心して子育てができる環境を整えるとともに、地域ぐるみでこどもの成長を見守り、健やかな育ちを応援することが重要であると考えています。

こうした中、国は令和5年12月にこども大綱を閣議決定し、また、急速な少子化・人口減少に歯止めとかけるため、こども未来戦略加速化プランを策定し、経済的な面だけでなく、すべてのこども・子育て世帯への切れ目ない支援の実現に向け、現在動いています。

本市においてもこのような国の動きを踏まえ、これまで推進してきた「小牧市子ども・子育て支援事業計画」を継承するとともに、こども施策全般に関する統一的な新たな計画として「小牧市こども計画」を策定しました。

今後は本計画のもと、来るべき未来社会をしっかりと見据えた、新たな子育て家庭の支援や環境整備に取り組み、すべてのこどもたちが夢を育み、未来を描いて挑戦することができるまち、そして、こどもを中心に世代を越えて、市民がつながり、支え合う、すみよいまちづくりを進めてまいります。

最後に、本計画の策定にあたって、ご尽力いただきました「小牧市こども・子育て会議」委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様に深く感謝を申し上げます。

令和7年3月

小牧市長 山下 史守朗

